SONY

ICレコーダー

取扱説明書

インターネット上でヘルプガイド(Web取扱説明書)を閲覧できます(パソコン・スマートフォン用)。
ICレコーダーの詳しい使いかたや困ったときの対処方法を説明しています。
http://rd1.sony.net/help/icd/p24/ja/

ICD-PX240

4-729-027-**03**(1)

© 2017 Sony Corporation　Printed in China

* 4 7 2 9 0 2 7 0 3 * (1)

⚠警告 安全のために（裏面も合わせてお読みください。）

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見る電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　接触禁止

マニュアルについて

紙で見る

取扱説明書(本書)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・消去)や上手に録音、再生するための情報、困ったときの解決方法などを記載しています。

パソコン スマートフォン タブレットで見る

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ICレコーダーの楽しみかたや機能の詳細説明、困ったときの対処方法などをパソコンで調べることができます。
また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。
閲覧は無料ですが、通信料は通信契約に依存します。
ヘルプガイドへのアクセス方法については、本書の表紙をご覧ください。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには → ICレコーダー サポート・お問い合わせへ（https://www.sony.jp/support/ic-recorder/）**

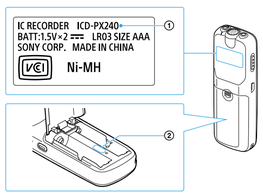
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。
- □ Q&A（よくある問い合わせ情報）
- □ ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- □ 製品別サポート情報
- □ 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
- □ 製品登録（製品登録へのご案内）

- **電話・FAXでのお問い合わせは → ソニーの相談窓口へ**

本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名(Ⓢ)：ICD-PX240
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- シリアルナンバー(Ⓖ)：電池蓋を開けた内側に記載
- お買い上げ年月日



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**https://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口

フリーダイヤル……**0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話…**050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル……**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話…**050-3754-9599**

※付属品の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に**「303」+「#」**を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通)　0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

準備する

準備1　箱の中身を確認する

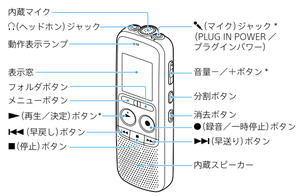
はじめに、以下の同梱物が揃っているかを確認してください。

- 本体(1)
  表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。
- 単4形アルカリ乾電池(2)
- USBケーブル(1)
- 取扱説明書(本書)(1)
- 保証書(1)
- 製品のサポート登録のおすすめ(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ICレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

準備2　各部のなまえを確認する

本体(表面)



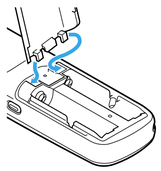
* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

本体(裏面)

準備3　電池を入れる

1 電池蓋を矢印の方向へずらして開け、付属の単4形アルカリ乾電池を入れて、蓋を閉める。

電池蓋は落としたり、無理な力を加えたりすると外れることがあります。そのときは下の図のように取り付けてください。

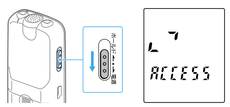


- ICレコーダーでは、以下の乾電池、充電池をお使いになれます。
  - 単4形アルカリ乾電池2本(付属)
  - 充電式ニッケル水素電池単4形(市販)
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池または充電済みのニッケル水素電池に交換してください。
- ICレコーダーではニッケル水素電池を充電することはできません。
  充電するときは、市販のニッケル水素電池専用充電器をご利用ください。

準備4　電源を入れる

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

1 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。
動作表示ランプがオレンジに点滅し、「ACCESS」と表示されます。



電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓の残量表示でお知らせします。

電池の残量表示

	電池の交換時期が近づいています。
	「LOW BATT」が点滅し、操作が停止します。

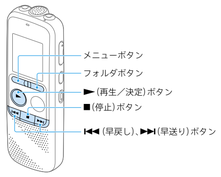
電源を切るには

画面に「OFF」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせます。

- 停止状態で操作をしないまま約10分放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。
- 電池を交換するときは、ICレコーダーの電源を切ってから行ってください。

準備5　時計を合わせる

お買い上げの後、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまましばらくお使いにならなかった後に電池を入れたときは、年表示が点滅します。



1 年を合わせる。
⏮または⏭ボタンを押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選びます。
►(再生／決定)ボタンを押すと、カーソルが月表示に移動します。

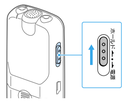
2 同じ手順で、月、日、時、分の順に設定する。
⏮または⏭ボタンを押して、数字を選び、
►(再生／決定)ボタンを押して設定を完了します。

- 操作中に1つ前の操作に戻るには、メニューボタンを押します。
- 停止中にメニューボタンを押して、時計設定を後から変更することができます。
- 時計設定モードに入ってから、設定を完了しないまま1分以上操作を行わない場合、時計設定モードがキャンセルされ、停止画面に戻ります。
- 停止中に■(停止)ボタンを押すと、現在時刻が表示されます。

誤操作を防止する(ホールド)

持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます。

ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドさせます。



電源が入っているときに操作すると、「HOLD」と約3秒間点滅します。

録音する

録音を始める

1 フォルダボタンを押して、録音するファイルの保存先フォルダを選ぶ。
[A]、[B]、[C]、[D]または[E]から選びます。
録音した後にフォルダを変更した場合、次にファイルを録音したときから、新しく選んだフォルダに保存されます。

2 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

3 停止中に●(録音／一時停止)ボタンを押す。
動作表示ランプがオレンジに点滅後、赤で点灯します。

●(録音／一時停止)ボタンは、録音中押し続ける必要はありません。
新しいファイルは、手順1で選んだフォルダの一番最後に自動的に録音されます。

4 録音を止めるには、■(停止)ボタンを押す。
「ACCESS」と表示され、停止画面に戻ります。
録音停止後に►(再生／決定)ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

録音を一時停止するには

●(録音／一時停止)ボタンを押します。
録音一時停止中は動作表示ランプが赤く点滅し、「PAUSE」が点滅します。

録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

録音一時停止を解除するには

もう一度●(録音／一時停止)ボタンを押します。
先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。録音一時停止後、録音を続けず停止するときは、■(停止)ボタンを押します。

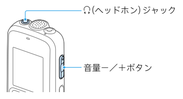
- ICレコーダーで録音されるファイル形式は、MP3です。
- 各フォルダには、最大で99件のファイルが録音できます。
- 画面上に「ACCESS」が点滅中、または動作表示ランプがオレンジに点滅している間は、電池を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音を始める前に必ず電池の残量表示を確認してください。

メモリー残量について

ICレコーダーのメモリー残量が少なくなると、画面下のメモリー残量表示が1つずつ消えていきます。

録音中に、録音可能な残り時間が10分を切ると、メモリー残量表示が点滅します。
録音可能な残り時間が1分を切ると画面が切り替わり、メモリー残量表示と残り時間が点滅します。
残量がなくなると、録音が自動的に停止し、「FULL」と「録音」が点滅します。録音するには、不要なファイルを消去してください。

録音中の音を聞く



別売のヘッドホンを🎧(ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量は、音量－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

録音中の音をモニターしている際、ノイズカットの設定は無効になります。

上手に録音するコツ―ノイズの原因と対策

ノイズとして録音される可能性のある音について

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音を遠ざけるか、取り除いてください。
- 状況や録音シーンに合わせて、次の機能をお使いください。
  - 録音モード
  - 内蔵マイク感度設定
  - 録音フィルター

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。
録音環境は人や状況、場所によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。
ためし録りは大切な録音を失敗しないため、また録音環境を整えて理想の音質に近づけるために大変有効なものです。

その他の録音操作

音がしたとき自動録音する(VOR録音)

VOR(Voice Operated Recording)録音は、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止する機能です。

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 ⏮または⏭ボタンを押して、「VOR」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。

3 ⏮または⏭ボタンを押して、「ON」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。

4 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

5 ●(録音／一時停止)ボタンを押す。
「録音」と「VOR」が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「VOR」と「PAUSE」が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

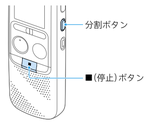
VOR録音を解除するには

手順3で「OFF」を選択します。

- ノイズなど不要な音を拾っても録音が開始される場合があります。
- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り替えてください。マイク感度を切り替えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「OFF」に設定してください。

録音の途中でファイルを分割する

録音中にファイルを分割して、録音を続けながら複数の録音ファイルを保存することができます。
一度分割したファイルは、結合することができません。



1 録音中に分割ボタンを押す。
「DIVIDE」と新しいファイル番号が点滅します。

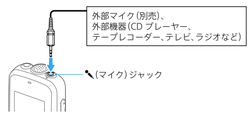
押したところから新しいファイル番号が付き、別のファイルとして、続けて録音されます。

ファイル1	ファイル2	ファイル3

▲ファイル分割　ファイル2に続いてファイル3が録音される

- 録音一時停止中でもファイルを分割できます。
- ファイルを分割した場合、前のファイルの最後の音と、後のファイルの最初の音が重なり、同じ音が聞こえる場合があります。
- 録音可能な残り時間が3秒未満になるとファイル分割はできません。

外部マイクや外部機器を接続して録音する



1 停止中に別売の外部マイクまたは外部機器をICレコーダーの🔌(マイク)ジャックにつなぐ。
- 別売のステレオマイクを接続し、SHQモードまたはHQモードに設定して録音するとステレオで録音できます。
- 他の機器(CDプレーヤー、テープレコーダーやテレビ、ラジオなど)の音声を録音するには、他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を、市販のオーディオコードを使ってつなぎます。

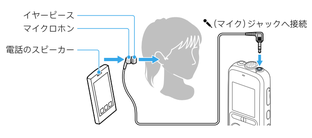
2 フォルダボタンを押して、録音するファイルの録音先フォルダを選ぶ。
[A]、[B]、[C]、[D]または[E]から選びます。

3 ●(録音／一時停止)ボタンを押す。
内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクまたはつないだ外部機器の音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、ICレコーダーのマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源はICレコーダーから供給されます。

4 録音を止めるには、ICレコーダーの■(停止)ボタンを押す。

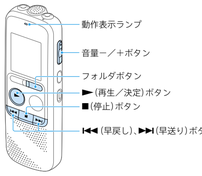
電話機や携帯電話の音声を録音する

別売の電話録音用マイク(ECM-TL3)を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。



- 録音する場合には、ICレコーダーと接続後、通話状態と録音レベルをご確認のうえ、ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってからICレコーダーを録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能が働かないことがあります。
- ICレコーダーを使って通話録音をしたとき、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

再生する



1 フォルダボタンを押して、再生するファイルが保存されたフォルダを選ぶ。
[A]、[B]、[C]、[D]または[E]から選びます。

2 ⏮または⏭ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ。

3 ►(再生／決定)ボタンを押す。
再生が始まり、動作表示ランプが緑に点灯します。

4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

5 再生を止めるには、■(停止)ボタンを押す。
■(停止)ボタンを押さずにファイルの再生が終わると、次のファイルの先頭で停止します。
フォルダ内の最後のファイルが再生し終わると、「END」が点滅します。

再生を一時停止するには

►(再生／決定)ボタンを押します。
もう一度►(再生／決定)ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

再生中のファイルの先頭に戻るには

⏮ボタンを短く1回押します。

再生中のファイルより前のファイルに戻るには

⏮ボタンを短く何回か押します。
(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。)

次のファイルに進むには

⏭ボタンを短く1回押します。

さらに次のファイルに進むには

⏭ボタンを短く何回か押します。
(停止中は押したままにすると、連続して進みます。)

その他の再生操作

再生速度を調節する(DPC)

DPC(Digital Pitch Control)機能を使うと、再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。

1 停止／再生中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 ⏮または⏭ボタンを押して、「DPC」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。

3 ⏮または⏭ボタンを押して、「ON」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。

4 ⏮または⏭ボタンを押して、再生速度を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。
ボタンを押すごとに、x0.50 ～ x1.00倍速の間は0.05倍速刻み、x1.00 ～ x2.00倍速の間は0.10倍速刻みで再生速度を調整することができます。
お買い上げ時は、「x0.70」に設定されています。

5 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。
再生中は、設定した再生速度が表示されます。

通常の再生速度に戻すには

手順3で「OFF」を選択します。

聞きたいところをすばやく探す(イージーサーチ)

イージーサーチ機能を使うと、再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

1 停止中または再生中に、メニューボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 ⏮または⏭を押して「EASY-S」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。

3 ⏮または⏭を押して「ON」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。

4 ■(停止)を押してメニューモードを終了する。
再生中に⏭ボタンを押すと10秒進み、⏮ボタンを押すと3秒戻ります。

1ファイルを繰り返し聞く(リピート再生)

再生中に►(再生／決定)ボタンを長押しします。
「🔁」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。
通常再生に戻るには、►(再生／決定)ボタンを押します。

再生中に早送り／早戻しする(キュー／レビュー)

- 早送り(キュー)：再生中に⏭ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：再生中に⏮ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は再生しながら低速で早送り／早戻しされます。押し続けると、中速、その後高速での早送り／早戻しになります。

再生中にファイルを分割する

会議の録音など1ファイルが長時間の場合、複数のファイルに分割すると、再生したい場所がすばやく探せます。
分割したファイルには新しいファイル番号が付けられます。
分割したいファイルが入っているフォルダの最大ファイル数(99件)まで、ファイルを分割できます。

1 再生中に分割ボタンを押す。
「DIVIDE」と現在のファイル番号が点滅します。

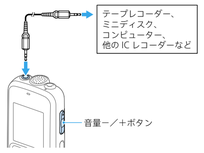
2 もう1度分割ボタンを押す。
新しいファイル番号が付き、以降のファイル番号は1つずつ送られます。

ファイル1	ファイル2	ファイル3
	▲ファイル分割	
ファイル1	ファイル2	ファイル3	ファイル4

ファイル番号が1つずつ増える

- 一度分割したファイルは、結合することができません。
- 分割ボタンを押した後、10秒以上操作しないままでいると、分割設定が解除され停止します。
- リピート再生中に分割すると、リピート再生は解除されます。
- 保護設定されているファイルは分割できません。メニューで「LOCK」を「OFF」に設定してから、分割してください。

ICレコーダーで再生した音声を他の機器で録音する



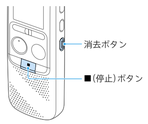
ICレコーダーにつないだ他の機器でICレコーダーの音声を録音できます。録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 ICレコーダーの🎧(ヘッドホン)ジャックと他の機器の音声入力端子(ステレオミニジャック)を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。

2 ICレコーダーの►(再生／決定)ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して録音状態にする。
ICレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、ICレコーダーの■(停止)ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。
外部機器と接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

消去する



1 停止中または再生中に、消去したいファイルを選ぶ。

2 停止中は消去ボタンを長押し、再生中は消去ボタンを押す。
確認音が鳴り、ファイルが繰り返し再生され、ファイル番号と「ERASE」が点滅します。

3 「ERASE」の点滅中に消去ボタンをもう1度押す。
ファイルが消去され、以降のファイル番号が繰り上がります。

途中で消去をやめるには

手順3の前に■(停止)ボタンを押します。

1つのファイルの一部分だけを消去するには

ファイル分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイルを選び上記の手順を実行します。

- 一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 保護設定されたファイルは消去できません。メニューで「LOCK」を「OFF」に設定してから、消去してください。

フォルダ内の全ファイルを一度に消去する

1 フォルダボタンを押して、ファイルを一度に消去したいフォルダを選ぶ。
[A]、[B]、[C]、[D]または[E]から選びます。

2 停止中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 ⏮または⏭ボタンを押して、「ERASE ALL」を選び、►(再生／決定)ボタンを押す。
「ERASE ALL」が点滅します。

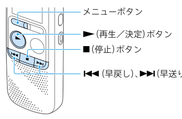
4 「ERASE ALL」の点滅中に►(再生／決定)ボタンをもう1度押す。
フォルダ内の全ファイルが消去されます。

5 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

裏面へつづく

メニューについて

メニューの使いかた



1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 ⏮または⏭ボタンを押して、設定したい項目を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。

3 ⏮または⏭ボタンを押して、設定を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニューボタンを押した後、約1分間操作しないままでいると、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にメニューボタンを押します。

メニューモードを終了するには

■（停止）ボタンを押します。

メニュー項目

（*：初期設定）

MODE（録音モード）

停止中に、お好みの音質や用途に応じた録音モードを選べます。音質を重視しない簡易な録音（メモ録音）はLPモードで長時間録音することができます。より良い音質で録音したいときは、SHQモードまたはHQモードをお使いください。

SHQ*	モノラル超高音質モード（44.1 kHz/192 kbps）
HQ	モノラル高音質モード（44.1 kHz/128 kbps）
SP	モノラル標準モード（44.1 kHz/48 kbps）
LP	モノラル長時間モード（11.025 kHz/8 kbps）

SENS（マイク感度）

停止、録音、録音一時停止中に、用途に合わせて、マイクの感度を選べます。

H*	広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
L	口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

LCF（ローカットフィルター）

停止、録音、録音一時停止中に、LCF（ローカットフィルター）機能を設定できます。

ON	低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減できます。
OFF*	ローカットフィルター機能を無効にします。

VOR（VOR機能）

停止、録音、録音一時停止中に、VOR（Voice Operated Recording）機能を設定できます。

ON	ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。●（録音／一時停止）ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。
OFF*	VOR機能を無効にします。

REC-OP（録音オプション）

停止、録音、録音一時停止中に、REC-OP機能（追加録音、上書き録音）を設定できます。

ON	REC-OP機能（追加録音、上書き録音）が選択できます。
ADD	再生中のファイルに追加して録音できます。追加された録音は、現在のファイルの後に置かれ、ファイルの一部としてカウントされます。
OVER	録音したファイル内の選択したポイントの後に上書き録音を追加することができます。選択したポイント以降の残りのファイルは消去されます。
OFF*	REC-OP機能を無効にします。

DPC（速度調節）

停止／再生中に、DPC（Digital Pitch Control）機能を設定できます。

ON	再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。 その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。
OFF*	DPC機能を無効にします。

N-CUT（ノイズカット）

停止／再生中に、ノイズカット機能を設定できます。

ON	録音した音声を聞きやすくするために、音声帯域には影響の出ない低域と高域の雑音を低減して音声をより聞きやすくします。
OFF*	ノイズカット機能を無効にします。

EASY-S（イージーサーチ）

再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

ON	再生中に⏭ボタンを押すと10秒進み、⏮ボタンを押すと3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。
OFF*	イージーサーチ機能を無効にします。 ⏭または⏮を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。

CONT（連続再生）

停止／再生中に、連続再生機能を設定できます。

ON	フォルダ内のすべてのファイルを連続して再生します。
OFF*	連続再生機能を無効にします。 1ファイルのみを再生します。

DISPLAY（表示切り替え）

表示モードを設定します。

ELAPSE*	1ファイルの再生経過時間を表示します。
REMAIN	停止または再生中は、1つのファイルの残りの時間、録音中は、録音可能時間を表示します。

SET DATE（時計設定）

停止中に、「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。

HOUR（時計表示形式）

停止中に、時刻表示形式を設定します。

24H*	0:00＝真夜中、12:00＝正午
12H	12:00AM＝真夜中、12:00PM＝正午

BEEP（操作音）

停止中に、操作確認音を設定します。

ON*	操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。
OFF	操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

LED（ランプ）

停止中に、動作表示ランプの点灯、消灯を設定します。

ON*	動作中は動作表示ランプが点灯または点滅します。
OFF	動作中も動作表示ランプが点灯または点滅しません。

INIT（設定初期化）

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。「時計設定」、「保護設定」、「アラーム設定」は、初期化されません。

YES	設定を初期化します。
NO*	初期化せず、前の画面に戻ります。

SYSTEM（本体情報）

ソフトウェアのバージョン番号を表示します。

FORMAT（メモリー初期化）

停止中に、内蔵メモリーを初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

YES	メモリーを初期化します。
NO*	初期化せず、前の画面に戻ります。

ERASE ALL（全消去）

停止中に、フォルダ内の全ファイルを一度に消去できます。フォルダを選び、メニューモードに入り、「ALL ERASE」が点滅中に►（再生／決定）ボタンを押すと、フォルダ内のすべてのファイルが消去されます。

MOVE（移動）

停止中に、選択したフォルダにファイルを移動できます。メニューに入る前に、移動するファイルを表示してください。

LOCK（保護）

停止中に、ファイルを保護して、消去、分割や移動ができないようにします。

ON	ファイルを保護します。
OFF*	保護設定を解除します。

ALARM（アラーム）

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。1ファイルに1件のアラームが設定できます。

ON	アラームの設定（日付や時刻、繰り返し、アラーム音）が選択できます。
DATE	日付を指定して、アラーム時刻を設定します。
SUN~SAT	曜日を指定して、同じ時刻にアラームを設定します。
DAILY	毎日同じ時刻にアラームを設定します。
B-PLAY	アラーム音が鳴った後に選択したファイルが再生されます。
BEEP	アラーム音のみが鳴ります。
PLAY	選択したファイルのみが再生されます。
OFF*	アラームの設定を解除します。

編集操作

ファイルを別のフォルダに移動する

1 移動したいファイルを表示する。

2 停止中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 ⏮または⏭ボタンを押して、「MOVE」を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。

4 ⏮または⏭ボタンを押して移動先のフォルダ（[A]、[B]、[C]、[D]または[E]）を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。

ファイルは選択したフォルダの最後に移動します。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

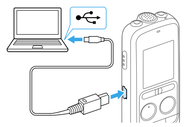
保護設定がされているファイルは移動できません。メニューで「LOCK」を「OFF」に設定してから、移動してください。

パソコンを活用する

本機種は、Sound Organizer（Ver1.6/2.0）と接続することはできません。

パソコンにつないで使う

ICレコーダーをパソコンに接続すると、パソコンとファイルをやり取りできます。

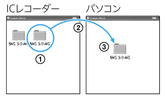


1 ICレコーダーの USB端子とパソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを奥まで差し込んで接続する。
ICレコーダーの電源がオフの状態でも接続できます。

2 正しく認識されているかを確認する。
Windowsでは、「エクスプローラー」を開き、「IC RECORDER」が認識されているかを確認してください。Macでは、Finderに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。接続中は表示窓に「PC LINK」が表示されます。

ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する

「IC RECORDER」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにコピー（ドラッグアンドドロップ）します。ファイルやフォルダをコピーするには、コピーしたいフォルダをクリックしたまま（①）、保存先まで移動（ドラッグ）して（②）、離します（ドロップ）（③）。



パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーにコピーする

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（MP3（.mp3））をICレコーダーにコピーして再生することができます。

WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」にドラッグアンドドロップします。1個のフォルダには最大99件のファイルを入れることができます。

ICレコーダーをパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 ICレコーダーの動作表示ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウエアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコン をクリックしてください。
次に、「IC RECORDERの取り出し」をクリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

3 パソコンからUSBケーブルを取り外す。

パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 10 ／ Windows 8.1 ／ Windows 7（Service Pack1以降）
- macOS（v10.11 ～ v10.14）

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

- 最新の対応OSについては、ICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

「症状から調べる」の各項目で調べる。

パソコンを利用できる場合
- ヘルプガイドで調べる
http://rdl.sony.net/help/icd/p24/ja/
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる
https://www.sony.jp/support/ic-recorder/

電池を入れ直す。
電池を入れ直すと問題が解決することがあります。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口（表面）またはお買い上げ店に相談する。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

症状から調べる

電源が切れない。
- 停止中に、画面に「OFF」と表示されるまでホールド・電源スイッチを「電源」の方向に動かしてください。

液晶表示が消えない。表示が二重に見える。
- 保護シートが付いている場合は、剥がしてお使いください。

電源が入らない。
- 電池の＋と－の向きが正しいか確認してください。
- 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

内蔵スピーカーから音が出ない。
- 音量が0になっています。音量を調節してください。
- ヘッドホンをつないでいます。ヘッドホンを抜いてください。

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。
- 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。

録音が途中で止まる。
- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「OFF」にしてください。

雑音が入る。
- 録音したとき、ICレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ICレコーダーに接続した外部マイクやヘッドホンのプラグが汚れています。プラグをきれいにクリーニングしてください。

ファイルを分割できない。
- メモリー残量が不足していると、ファイル分割はできません。
- 1フォルダ内のファイル数が99件を超えると、ファイル分割はできません。不要なファイルを消去してください。
- ファイルの始めから0.5秒までと終わりから0.5秒までの間ではファイル分割はできません。
- 頻繁にファイル分割をすると、ファイル分割ができなくなることがあります。
- メニューで「LOCK」（保護）が「ON」になっているとファイルは分割できません。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。
- DPC（速度調整）が「ON」になっているため、調整した再生スピードで再生されています。DPC（速度調整）をOFFにすると、通常の速度で再生されます。再生スピードを調整してください。

時計表示が「--:--」になる。
- 時計を合わせていません。

録音日時表示が「--年 --月 --日」または「--:--」になる。
- 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。

時計設定がリセットされている。
- 電池を交換した後にICレコーダーの電源を入れると、時計設定画面が表示され、電池を交換する前の最後にICレコーダーを操作したときのおおよその日付と時刻が表示されます。
日付と時刻を設定し直してください。

メニュー表示の項目が足りない。
- 再生中または録音中は、表示されないメニューがあります。

消去できない。
- メニューで「LOCK」（保護）が「ON」になっているとファイルは消去できません。
- 「LOCK」を「OFF」に設定して、保護設定を解除してください。

録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）
- 音楽などを録音したいときは、外部マイクを使用し、雑音が入らないようにセッティングして録音してください。
- 録音モードは、SHQモードまたはHQモードをお使いください。

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。
- 他の機器のヘッドホン端子を使ってICレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

電池の持続時間が短い。
- 乾電池の持続時間は目安です。使用条件によって短くなる場合があります。

変更したメニュー設定が反映されていない。
- 設定変更直後に電池を取り外した場合、ICレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。

起動に時間がかかる。
- ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。

メッセージ一覧

HOLD
ICレコーダーが誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせて、ホールドを解除してください。

LOW BATT（ が同時に点滅）
電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去ができません。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池（市販）と取り換えてください。

LOW BATT（ が同時に点滅）
電池が消耗しています。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池（市販）と取り換えてください。

FULL（録音 が同時に点滅）
録音できるメモリー容量がなくなりました。不要なファイルを消去してからやり直してください。

FULL（移動先フォルダが同時に点滅）
移動先フォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）のため、ファイルを移動できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。

FILE FULL
選んだフォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）のため、録音や分割することはできません。不要なファイルを消去してください。

SET DATE
時計を合わせていないため、アラームが設定できません。

NO FILE
選んだフォルダには1つもファイルが録音されていないため、ファイル移動やアラーム再生の設定などの操作ができません。

LOCK（ が同時に点滅）
選んだファイルが保護設定されているか、読み取り専用になっているため、消去などができません。ICレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外すと、操作できるようになります。

PRE SET
すでに別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。

BACK DATE
現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください。

NO EDIT
- ICレコーダーで記録したファイルでないため、分割や追加録音、上書き録音ができません。
- 追加録音または上書録音するファイルが最大サイズを超えているため、追加録音、上書き録音ができません。

NO MOVE（移動先フォルダが同時に点滅）
移動先フォルダに同じ名前のファイルが存在するため、移動することができません。

REC-OP OFF
「REC-OP」が「OFF」に設定されているため、録音を追加したり上書きしたりすることはできません。「ON」に設定してください。

NEW
録音中にファイルが最大サイズ制限に達しました。ファイルは自動的に分割され、録音は新しいファイルとして継続されます。

FORMAT ERR
内蔵メモリーが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。ICレコーダーで初期化を行ってください。

DATA ERR
- ICレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ICレコーダーが 対応しているファイル形式（拡張子）は、MP3（.mp3）となります。詳しくは「ICレコーダーの仕様」をご覧ください。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。

ACCESS ERR
何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池を外し、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（表面）までご連絡ください。

ERROR 01~06
何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池を外し、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（表面）までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間まで録音できない。
- SHQモード、HQモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSHQモードとLPモードの最大録音時間の間になります。
- 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より短くなります。

使用上のご注意

使用場所について
運転中の使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
  - ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。
特に以下の場合、ご注意ください。
  - 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
  身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
  ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水ぬれの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて
- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ
本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

ICレコーダーを廃棄するときのご注意
廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化を行い、すべてのデータを削除してください。

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火の中に入れない

内部を開けない
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない
踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。
そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で録音された音声ファイルには、著作権保護技術は使用されていません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

⚠危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき
- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（表面）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取り外す。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について
ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.com/を参照してください。

Ni-MH

⚠警告 乾電池について
- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。
電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取り外す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池について
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

その他

主な仕様

ICレコーダーの仕様

容量*1*2 （ユーザー使用可能領域）	4 GB （約3.50 GB = 3,758,096,384バイト）
最大ファイル数 （1フォルダ内）	99ファイル
最大ファイル数 （5フォルダ内）	495ファイル
周波数範囲	• SHQ: 75 Hz - 15,000 Hz • HQ: 75 Hz - 15,000 Hz • SP: 75 Hz - 10,000 Hz • LP: 75 Hz - 3,000 Hz
対応ファイル フォーマット	• コーデック：MP3 *3*4 • ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 • サンプリング周波数：16/22.05/24/32/44.1/48 kHz • 拡張子：.mp3
内蔵スピーカー	直径28 mm
入・出力端子	• 外部入力（ステレオミニジャック）プラグインパワー対応 • ヘッドホン（ステレオミニジャック）推奨負荷インピーダンス：16 Ω • USB端子（USB mini-B端子）High-Speed USB対応
再生スピード調節 （DPC）	2.00倍速 ～ 0.50倍速
実用最大出力	300 mW
電源	DC 3 V、単4形アルカリ乾電池
動作温度	5 ℃ ～ 35 ℃
最大外形寸法（最大突起部含まず）	38.5 mm×115.2 mm×21.3 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約72 g（単4形アルカリ乾電池2本含む）
付属品	表面参照

*1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。
*2 ICレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合
*3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
*4 著作権保護されたファイルは再生できません。

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間*5*6
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

SHQモード	約43時間25分
HQモード	約65時間10分
SPモード	約173時間
LPモード	約1,043時間

*5 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは下記の乾電池の持続時間をご確認ください。
*6 表記の最大録音時間は目安です。

電池の持続時間

乾電池の持続時間*7
（アルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	SHQモード	HQモード
録音時	約21時間	約23時間
内蔵スピーカー再生時	約11時間	約12時間
ヘッドホン再生時	約25時間	約25時間

録音モード	SPモード	LPモード
録音時	約27時間	約32時間
内蔵スピーカー再生時	約12時間	約13時間
ヘッドホン再生時	約27時間	約30時間

充電式電池の持続時間*7
（充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

録音モード	SHQモード	HQモード
録音時	約15時間	約18時間
内蔵スピーカー再生時	約8時間	約9時間
ヘッドホン再生時	約18時間	約18時間

録音モード	SPモード	LPモード
録音時	約18時間	約21時間
内蔵スピーカー再生時	約9時間	約9時間
ヘッドホン再生時	約19時間	約20時間

*7 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口（表面）、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではICレコーダーの補修・性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

著作権と商標について

著作権について
- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

商標について
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- macOSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ライセンスについて
本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。